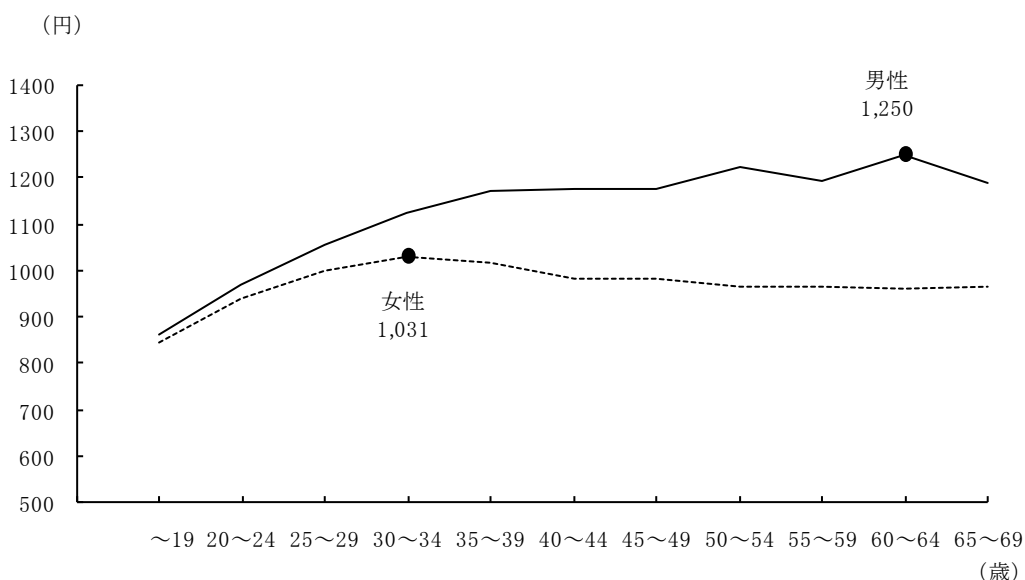


2 短時間労働者の賃金

(1) 年齢階級別にみた賃金

短時間労働者の1時間あたり賃金は、男性が1,086円（前年比1.4%増）、女性が973円（同0.2%減）となっている。男性では、25～29歳以上は1,000円を超えている。女性では、25～29歳及び30歳台で1,000円台となっており、40歳台以降は900円台となっている。（第10図、第13表）

第10図 短時間労働者の性、年齢階級別1時間あたり賃金



第13表 短時間労働者の年齢階級、性別1時間あたり賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	1時間 あたり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)	1時間 あたり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	年齢階 級間賃 金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	1,086	1.4	112	973	-0.2	104
～19歳	861	0.3	89	844	0.4	90
20～24	971	0.0	100	939	-2.0	100
25～29	1,056	-1.9	109	1,002	-1.8	107
30～34	1,126	-3.6	116	1,031	1.6	110
35～39	1,171	0.8	121	1,017	1.5	108
40～44	1,178	-3.9	121	985	-0.2	105
45～49	1,175	0.4	121	983	-0.1	105
50～54	1,223	2.9	126	966	-0.5	103
55～59	1,192	5.0	123	967	-1.0	103
60～64	1,250	3.3	129	960	-1.2	102
65～69	1,189	1.7	122	964	-1.9	103
平均年齢(歳)	40.3			44.4		
平均実労働日数(日)	15.5			17.1		
平均1日あたり所定内実労働時間数(時間)	5.4			5.2		
勤続年数(年)	4.1			5.1		

(2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業が1,048円（前年比3.3%増）、中企業が1,128円（同0.9%増）、小企業が1,093円（同1.0%減）、女性では、大企業が970円（同0.6%増）、中企業が997円（同0.1%減）、小企業が954円（同1.5%減）となっている（第14表）。

第14表 短時間労働者の企業規模、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び企業規模間賃金格差

企業規模	男性			女性		
	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)	1時間 当たり 賃金(円)	対前年 増減率 (%)	企業規模 間賃金格 差(大企業 =100)
大 企 業	1,048	3.3	100	970	0.6	100
中 企 業	1,128	0.9	108	997	-0.1	103
小 企 業	1,093	-1.0	104	954	-1.5	98

(3) 産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、サービス業（他に分類されないもの）が1,000円を超え、女性では医療、福祉が1,000円を超えている（第15表）。

第15表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金、対前年増減率及び産業間賃金格差

性、産業		1時間当たり賃金(円)	対前年増減率 (%)	産業間賃金格差 (産業計=100)
男 性	産業計	1,086	1.4	100
	製造業	1,183	5.2	109
	運輸業、郵便業	1,119	-3.2	103
	卸売業、小売業	973	-1.5	90
	宿泊業、飲食サービス業	929	0.1	86
	サービス業(他に分類されないもの)	1,103	2.7	102
女 性	産業計	973	-0.2	100
	製造業	891	1.7	92
	卸売業、小売業	909	-1.5	93
	宿泊業、飲食サービス業	894	-0.8	92
	医療、福祉	1,192	0.6	123
	サービス業(他に分類されないもの)	972	-1.6	100

注：産業計には、上掲のほか、男女とも、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業を含み、男性では医療、福祉、女性では運輸業、郵便業を含む。